

平成18年度 第1回芦屋すこやか長寿プラン21評価委員会会議録

日 時	平成18年 8月 7日(月) 10:00~12:00
会 場	北館2階 第3会議室
出席者	委員長 浅野 仁 副委員長 多田 梢 委 員 関 武晟・若林 益郎・藤原 靖代・中野 久美子 中條 智子・三上 邦江・柴沼 元・久保崎 進 瀬尾 多嘉子・瀬々倉 利一・佐治 雅子・安宅 桂子 藤田 一・浅原 友美 事務局 保健福祉部高年福祉課
会議の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 <非公開・部分公開とした場合の理由>
傍聴者数	0 人

1 議題

- (1) 委員長, 副委員長の選出
- (2) 高年福祉課事業報告
- (3) 平成17年地域ケア会議における活動のまとめ
- (4) 高齢者保健計画について
- (5) 介護保険事業概要について
- (6) その他(芦屋すこやか長寿プラン21概要版について)

2 審議内容

- (1) 委員長, 副委員長の選出を行なう
- (2) ~ (6) の議題について事務局より報告, 説明し, 委員に意見聴取する。

開会

- (2) 高年福祉課事業報告

ー意見無しー

- (3) 平成17年地域ケア会議における活動のまとめ

ー意見無しー

- (4) 高齢者保健計画について

委 員) 市民健康診査について, 疾病ごとではなく, 生活習慣病として系列的な検診をした方が後のフォローもしやすいのではないかと思います。

副委員長) 老人健診に介護予防が付帯されましたが, それ以外は変わっていない。例えば口腔衛生とのつながりがないので, 記入するところがあればと思います。

(5) 介護保険事業概要について

委員) 3年目にして認定変更の割合が増えているのはなぜですか。また、年々滞納が増えているのはなぜですか。

事務局) 滞納については、保険料が上がったことに加えて、その他税制改正等の要素が影響しているのではないかと思います。保険料は全国の保険料平均とほぼ同じです。認定審査は年々精度が増しているのですが、18年度に要支援1, 2ができ3月末までに審査している影響もあるかと考えますが、詳細は不明です。

委員) 介護保険法の改正で、用具の貸与が要介護2以上になりましたが、利用者にとっては必要な物であり一般施策等で対応するのですか。それから介護保険も赤字で給付を制限する、保険料は上がるのに給付が下がるといった医療保険と同じ道をたどることのないようにと思います。

事務局) 用具の貸与は介護給付としては出来ません。一般施策でも制度がありません。どの自治体も頭を痛めている問題ですが、横出し事業で対応するには直近データで積算すると年間6,000万円必要であり、保険料に上乗せすることになります。どうしていくかは模索中です。

(6) その他(芦屋すこやか長寿プラン21事業計画について)

委員) 施設が増えるのはよいことだと思いますが、最近若年性の認知症の方が増えて、行き場がなかなかありません。若年期の方、特に男性の方が行ける場所があればと望みます。

委員) 2号被保険者の方へのケアも取り入れられたらいいのですが。若年期の方が増え、老人性という言葉自体が古くなっています。制度として、次はそれが必要な状況になっているのかもしれませんが。

委員長) 介護予防とともに、地域密着型が今回の改正の目玉。地域密着型の必要量から見ると平成20年度までの整備数が低いように思いますがいかがですか。

小規模多機能の整備は施設でないと単独は難しいでしょう。地域密着の認定は働きかけていますか。

事務局) 年間人数を延べで書いています。小規模多機能は1ヶ所25人。利用は回数でみているので比較しにくいものがあります。小規模多機能施設は一部で進んでいるものの単体ではむつかしいであろうと思います。今年度中にはグループホーム、特定施設も公募して整備をしていきたいと考えています。

閉会